

会議録

| | |
|------|---|
| 会議名 | 平成28年度 第1回 根室市子ども・子育て会議 |
| 開催日時 | 平成28年6月22日(水) 午後6時30分～午後7時05分 |
| 開催場所 | 根室市総合文化会館 2階 第2講座室 |
| 出席委員 | 山谷会長、遠藤委員、木根委員、乱橋委員、岡田委員、塩原委員、高橋委員、幸坂委員、石田委員、能村委員、久山委員、濱屋委員、平賀委員 以上13名出席 |
| 欠席委員 | 宇井副会長、中下委員、成田委員以上3名欠席 |
| 事務局 | 金田総合政策部長、佐々木少子化対策推進室長、前田少子化対策推進主査 谷口こども子育て課長、本波こども子育て主査、猪口こども子育て課主任 |

【概要】

1. 開会

2. 山谷会長挨拶

- ・この会議がスタートして3年目となり、平成26年度に策定した「子ども・子育て支援事業計画」に沿って、昨年度の取り組みが行われてきましたが、本日は、取り組んできたことの報告や、また、委員皆様から様々な視点での意見をいただきながら、より良い計画となるように取り組んでいきたいと思っております。

3. 委員紹介

- ・佐々木少子化対策推進室長より委員紹介

4. 報告事項

(1) 平成27年度の取り組み実績について [説明：前田少子化対策推進主査]

- ・資料1 「根室市子ども・子育て支援事業計画事業実施一覧」を抜粋して説明
【質疑・意見交換】
※特になし

(2) 平成28年度の主な取り組み内容について [説明：前田少子化対策推進主査]

- ・資料2 「平成28年度の主な取り組み(新規・拡充項目)について」を説明
【質疑・意見交換】
 - A委員：認可外の託児施設が一つとなっているが、このような施設が増えるなど、多くの女性が働くことのできる環境が整っていくことを期待しています。
 - B委員：認可外の施設が増えることが良いのか、公立保育所の定員を増加させることが良いのかはわからないが、バランスが必要と思います。
現在の保育所の0歳児から3歳児までの定員はどうなっているのか。
 - 事務局：昨年度からスタートした「第3子目以降保育料無料化」などの影響により定員が増えている現状にあり、現在も0歳児の入所申込みなど問合せがある。

- C委員：今後、0歳児等の受け入れが増加した場合に保育士の確保が問題となるが、見通しはどのようになっているか。
- 事務局：現在のところは対応ができていますが、全国的にも保育士の減少が問題となっており、待機児童を出さないためにも、保育士の確保に取り組んでいます。
- D委員：へき地保育所の状況はどうなっているのか。
- 事務局：へき地保育所は1月から3月が閉所となっておりますが、通年開所に向けた取り組みを進めているところであります。

5. 議事

(1) 根室市子ども・子育て支援事業計画の修正〔説明：猪口こども子育て課主任〕

- ・資料3「根室市子ども・子育て支援事業計画の修正」（特定教育・保育施設の利用定員の設定）に基づき説明

【質疑・意見交換】

- A委員：利用定員で2号認定（保育の必要な児童）が増えたことは、働く親が子供を預けられる場所が増えたということで良いことではないか。

6. 意見交換

【チャイルドシート】

- A委員：チャイルドシートの貸し出しを警察で行っていたと思うが、現在はどうか。また、チャイルドシートは高額となるので、使い終わった方が市役所に寄附をするなどの取り組みはないか。
- 事務局：市では、チャイルドシートの購入に対する支援は行っております。寄附や貸し出しについては、持ち帰り確認した上でお知らせします。

【フッ化物洗口】

- A委員：フッ化物洗口は継続した取り組みが重要であるが、厚床小学校と厚床中学校の2校のみの実施となっている、他の学校で実施する予定はないか。
- B委員：フッ化物洗口は、落石小学校や落石中学校での実施が予定されていると思う。また、海星小中学校でも検討されていると認識している。ただ、フッ化物は劇薬とされており、十分に気をつけて取り扱う必要があり、水飲み場が教室にある学校や、廊下にある学校など設備にも問題があると感じている。ただ、市内の人数が多い学校では、昼休み時間内での実施など時間的にも難しいと感じている。詳細は、教育委員会に確認してもらいたい。
- 事務局：虫歯予防は、学校のみならず、乳幼児からの取り組みが必要となるので、関係部署に伝えていきたい。また、フッ化物洗口は確認し、委員にお知らせしたい。

【分娩・妊婦ケア】

- A委員：根室市内で出産できない状況が続いているが、助産師が病院にいるのであれば、分娩を行うことができるのではないかと、教えてもらいたい。
- B委員：出産できる施設もそうですが、以前の交通費のみの補助でなく、出産支援金の支

給は、経済的な負担軽減としては、良い取り組みと思います。

- C委員：市内で出産ができない状況が続いており、市外で出産する場合は、陣痛が始まってから不安を抱えたまま病院へ向かうこととなるが、どのタイミングで向かってよいかなど、わからないことがあるので、市立病院で助産師による電話相談を行うなど、妊婦へのケア、不安解消に向けての取り組みを検討していただきたい。
- 事務局：現状では、保健師が妊婦さんへのケアなどを対応している部分もありますが、ご意見のありましたケアや不安解消に向けた取り組みを検討していきたいと思います。
また、助産師も含め、分娩体制については確認し、お知らせしたいと思います。

【子どもの肥満】

- A委員：市内の小学生、特に男の子の肥満児が増えていると感じているが、実態はどうかまた、子供に対する食事などの指導はどのように行っているのか。
- B委員：肥満は低年齢化し、多くなっている。学校では食育の指導を行いながら、養護教師と給食センターの栄養士と連携し、健康面のアドバイスや親と相談するなどの取り組みは行っている。
ただ、子供が肥満化した理由についてはわからないが、子供の糖尿病が増えている現状から食育指導などに取り組んでいる。保育所や幼稚園ではどのような状況か。
- C委員：小学校に上がると太っていく傾向にあると感じることがある。
- D委員：例えば、給食のレシピをホームページで公開することも一つの方法だと思う。
また、低カロリーのレシピを紹介するなどの取り組みを進めることで、肥満防止に向けた取り組みを進めることができるようになるのではないか。
- 事務局：食生活改善の取り組みとして、レシピ紹介をホームページで行っているが、市民へもっと周知やホームページを見やすくするような取り組みを検討したい。

【学校給食】

- A委員：給食の品数が以前と比べて少なくなっていると感じているがどうか。
- B委員：給食の品数とは、関係ないかも知れないが、アレルギー対応でメニューが減っていることも考えられる。現在の調理設備ではアレルギー除去食への対応ができないため、アレルギー対応で弁当を持参する子供もいる。ただ、品数については確認をお願いしたい。
- 事務局：給食の品数については、持ち帰り確認し、お知らせします。

※事務局より

- ・子ども・子育て会議は、年2回程度の開催を予定しており、次回は来年1月の開催を予定しておりますので、よろしく申し上げます。

7. 閉会